

# そり・スノーチューブの 注意点



## 01.

### 滑ってよい範囲を 明確にする

滑り始めと滑り終わりだけでなく、コースの幅を明確にすることで、衝突などの事故を防ぎます。

特に、雪が薄く地肌が見えている場所は滑らないように指導します。

併せて、滑ってよい範囲の外に登りの通路を作りましょう。

## 02.

### 危険な乗り方は しない

そりは原則1人で乗りましょう。2人以上で乗ると、スピードが出すぎてしまうことがあります（未就学児など、1人で乗れない場合を除く）。

立ち乗りなど、転びやすかったり、足でブレーキをかけることができない乗り方はやめるよう指導します。

## 03.

### 間隔を空けて滑る

隣同士で間隔を空けず、すぐ横に並んで滑ると、衝突の原因となります。

また、滑り始める間隔が短いと、滑り終わった子供とぶつかることもあります。

十分に間隔をとって滑るように指導しましょう。

## 04.

### 滑ってよい範囲内に 障害物を作らない

滑ってよい範囲内にジャンプ台（コブ）や障害物を作ると、そりがバウンドしたり、思わぬ転倒を招いて危険です。

特に、雪面が固い場合は骨折などのリスクもあるので、自然にコブができてしまった場合なども崩すようにしてください。

## 05.

### 指導者を 適切に配置する

そりの滑り始めや滑り終わりの場所、その中間点などに指導者を配置します。

特に、間隔を十分に空けるように声をかける、衝突が起きそうな場合は防ぐ、止まり切れないそりを受け止める、といった指導は確実に実施するようにしてください。